

広島大学法学部

School of Law Hiroshima University



CONTENTS

- 2 ページ 法学部長挨拶・教員一覧
- 3 ページ 法学部で学ぶ4年間
- 7 ページ 楽しいよっ!! キャンパス・ライフ
- 9 ページ 現在と未来を強力にサポート
- 10 ページ 各界で活躍する先輩たち
- 11 ページ 大学院で学ぼう
- 13 ページ 法学部への入口は多彩



法学部の沿革

昭和24年(1949)	広島大学創設と共に法学部の前身たる政経学部(政経学科)設置
昭和25年(1950)	政経学部内に第二部政経学科を設置
昭和32年(1957)	政経学部は広島市江波町から広島市東千田町に移転
昭和34年(1959)	政経学部内に政治経済学専攻科を設置
昭和40年(1965)	政経学部政経学科・第二部政経学科を政経学部法律政治学科・経済学科・同第二部に改組
昭和47年(1972)	大学院法学研究科(修士課程)を設置 政治経済学専攻科を廃止
昭和52年(1977)	政経学部を分離改組し、法学部・経済学部及び同第二部を設置(政経学部の廃止は昭和63年)
昭和61年(1986)	大学院法学研究科(修士課程)・大学院経済学研究科(修士課程)等を改組し、 大学院社会科学研究科(博士課程)を設置
平成7年(1995)	東広島市に移転 法学部・同第二部を改組し、昼間コース・夜間主コース(東千田地区)を設置
平成16年(2004)	大学院社会科学研究科の改組・部局化
令和2年(2020)	大学院社会科学研究科法政システム専攻、社会経済システム専攻を大学院人間社会科学研究科 法学・政治学プログラム、経済学プログラムに改組
令和5年(2023)	「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」とする東千田キャンパス整備計画により 法学部昼間コース、法学・政治学プログラムを広島市に移転

遥かなるボローニャから広島へ —— 人類共通の智慧を学ぶ

法学部長 吉 中 信 人



「法学」の源流は、遥か紀元前のローマ12表法に遡り、日本法は、8世紀の唐律にも学びました。11世紀には、世界初の法学部が、イタリア・ボローニャ大学に誕生しています。また、古代ギリシアにその起源を訪ねる「政治学」は、アリストテレスが「諸学の女王」と呼んだほど、歴史を持つ由緒正しき学問です。これら伝統的学問を踏まえながら、「社会学」は、近代のまなざしから、実証科学の方法を用いて、社会の諸相を問い直してきました。

広島大学法学部では、こうした歴史を踏まえながら、実際の社会生活に役立つ多くのルールと、根拠となる「法律」を学びます。その窮極には、法律を生み出す「国のかたち」や「政治」が、さらには「政治」を支える「社会」があります。例えば、ある法律の欠陥を考えたとき、むしろ、「政治」に理由があるのではないか、あるいは「社会」そのものに原因が胚胎しているのではないか、といったように、一つの事象を他の分野との相互関連の中で捉えることができます。私たちの法学部では、法学、政治学、社会学の3つの視点から社会に生起する様々な課題を読み解き、思考し、自分なりの意見を表明し、そしてそれを他者とのコミュニケーションの中でさらに発展させる力を養います。

今日、高度にデジタル化した社会において、ただ単に過去の知識を収集し、まとめるようなスキルは、既に大きな意味を持たず、今後は、自律型AIの発展によって、法律家の役割すら減衰していく可能性があります。では将来の社会は、ほとんどAIの言いなりとなるのでしょうか。人間のレゾン・デートル(存在意義)とは何なのでしょう。それを考えるには、これまで法学部の学問を支えてきた諸先学の英知に学びながら、より深く物事の本質を追究する多角的で強靱な思考力が必要です。様々な困難に直面する現代社会の問題を解決し、持続可能な世界に貢献していくために、歴史に鍛えられた人類共通の智慧を学ぶ意義は、益々高まっているのです。

教員一覧(五十音順)

学 部 長 吉 中 信 人

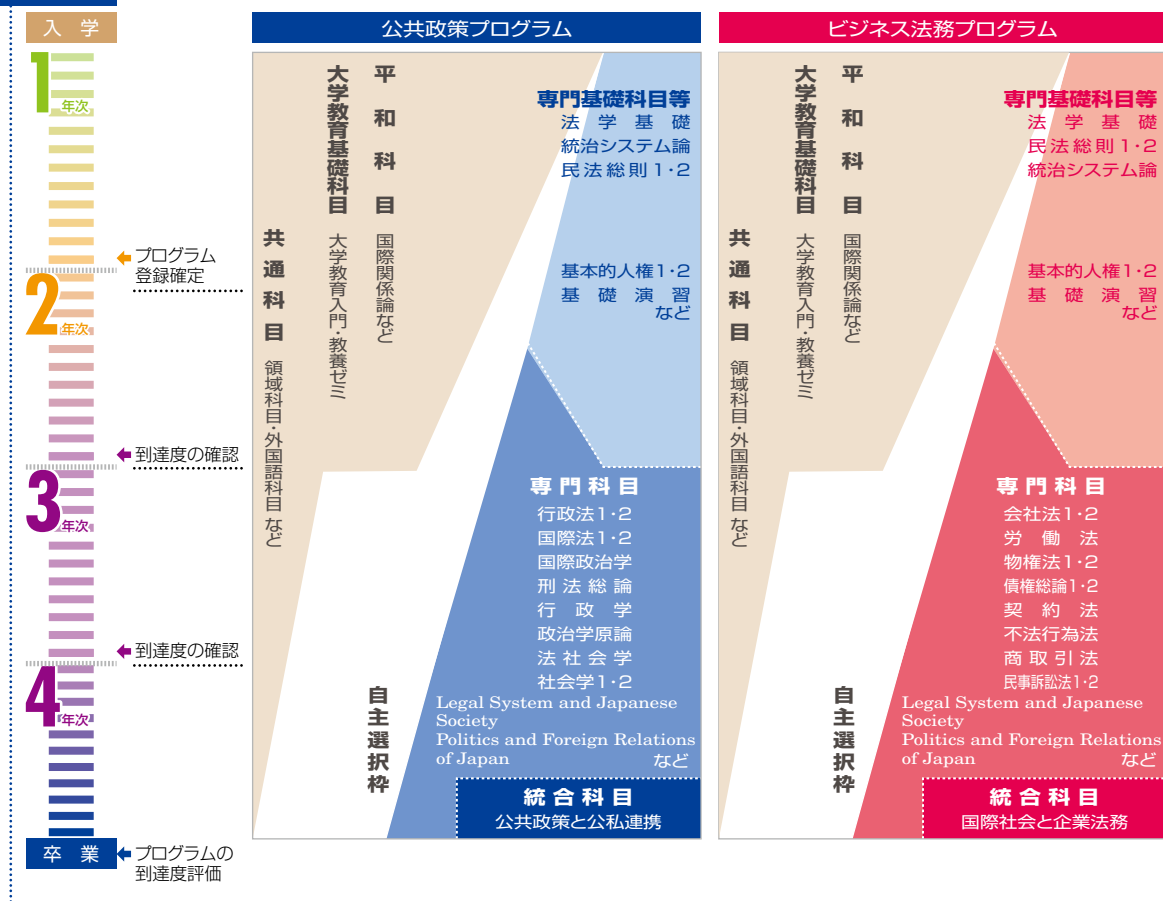
法 学	政治学・社会学
教 授 手塚 貴大(行政法・租税法)	教 授 浅利 宙(法社会学)
堀田 親臣(民法)	荒木 隆人(政治学)
松原 正至(商法)	江頭 大藏(社会学)
宮永 文雄(民事訴訟法)	永山 博之(国際政治学)
Mousourakis George(法哲学・法制史)	吉田 修(アジア政治)
吉中 信人(刑事訴訟法・少年法)	准教授 小林 悠太(行政学)
准教授 稲谷 信行(労働法)	長久明日香(国際政治経済学)
井上 嘉仁(憲法)	湯川 勇人(日本外交史)
金ミンジュ(民法)	助 教 金本 佑太(福祉社会学)
高田 恭子(民法)	重村 壮平(政治過程論)
野間小百合(国際私法)	
山口 幹雄(民法)	
助 教 辛嶋 了憲(憲法)	
SUN LU(刑法・東洋法制史)	

法学部で学ぶ4年間

将来の進路を見据えたカリキュラム

広島大学法学部(昼間コース)では、1年生で「教養ゼミ」や「法学基礎」などの基礎的な導入科目を履修したあと、2年生からは、卒業後の希望進路と目的意識に応じたプログラムが用意されています。「公共政策プログラム」は、公務員やN GO職員などをめざす学生を対象とし、制度の運用・評価・立案の能力を養成することを教育目標としています。「ビジネス法務プログラム」は、民間企業で活躍することをめざす学生を対象とし、企業活動の法的理解と実務能力にすぐれた人材を育成することが教育目標です。また、本学法学部の法曹コースとなる「法曹養成プログラム」は、法科大学院と連携して、法科大学院既修者コースとの一貫教育を可能にする法曹養成のための教育プログラムであり、学段階で法科大学院1年次に相当する基礎的な法律知識や能力などを早期に修得できます。それぞれの教育目標に適した専門科目群を履修し、到達度を確認しながら、力をつけていくことができます。

カリキュラム



1年生のときは、こんなふうに勉強します

教養ゼミ

担当する教員の専門分野に応じて、社会科学の世界にはじめて触れ、ディベートやプレゼンテーションを体験するなど、積極的に自己学習する方法を学びます。

写真は、ある日の教養ゼミの風景です。

1年生

法学基礎

各回の担当教員が専門分野に沿った導入的内容を解説することによって、法学の基礎になる概念と知識を教授し、法的思考力を養い、また、政治学の考え方、政治のしくみについて初歩的な知識を教授して、その役割や意義を理解させるための授業です。

この授業を通じて、各々の法分野に関心・問題意識を持ち、自主的・主体的に修学する態度を身につけてもらうことをねらいとしています。

グループに分かれてプレゼンの準備中。
「ブラックバイト」や「SNSでの誹謗中傷」など、身近な法律问题がテーマです。



2年生では、プログラムを選択します

2年生になると、3つのプログラムのいずれかを選択し、「基礎演習」やプログラムの「基本科目」などを受講します。

2年生

基礎演習

2年生の基礎演習では、専門教育を受ける準備として、講義で得た基礎的知識を、使いこなすことができるよう訓練します。例えば法律系の基礎演習では、判例・事例を素材として、法律が紛争の解決にどのように用いられているか、受講生の報告に基づき、理解を深めてゆきます。このほか、政治・社会学系の基礎演習も実施されます。

法曹養成プログラム



各々のプログラムに沿った
受講科目の組み立ては、
次のような感じになります。
たとえば、公共政策プログラム
を選択した、2人の2年生の
場合を見ましょう。



A君 「最近、駅周辺の商店街の活性化を目指す市民サークルに顔を出しています。空き店舗をなくすために建物や土地の所有者と交渉したり、看板ひとつ設置したりするにしても、どうやって誰に許可をとるのか等、本当に色々な法律の知識が必要なんだと分かってきましたし、地方自治体のまちづくりの手法や実際について、もっと知りたくなってきました。だから2年生からあとは、法律の講義をみっちり勉強しながら、行政学・政策システム論・社会学などの科目をとります。将来は、都市計画や地域政策に関わる仕事に就きたいなあと考えています。」



Bさん 「卒業後は生まれ故郷に戻って、県庁か市役所で働きたいと思っています。公務員になるには公務員試験を受けなければならない、ということで、まずは民法科目の講義をプログラムの基本科目として受講して、それから3年生までの間に憲法・刑法・行政法などの公法系の科目、専門試験に欠かさない政治学・行政学・社会政策など、バランスよく公務員試験科目を押さえていきたいと思っています。」



次に、2年生になって
ビジネス法務プログラムを
選択した、別の2人の場合を
見ましょう。



Cさん 「いつか独立して事業をやりたいと思っています。そのためには、会社を作って運営することになるから、いまのうちに会社法を勉強しておこうと思っています。事業でいろんな取引をするだろうから、民法や商取引法も勉強しておかないといけませんし、人を雇うことになるから労働法も勉強しておきたいです。事業にかかわる色々なことを勉強できるのがビジネス法務プログラムの強みですね。」



D君 「僕は、商社とかメーカーとか、民間企業に就職して、バリバリ働きたいと思っています。法務関係の部署で、グローバルに活躍できたら、かっこいいですよね。そのへんのことも考慮に入れて、ビジネス法務プログラムでは、会社法とか商取引法とかに力を入れて勉強したいと思っています。国際的な視野を持ちたいので、国際取引法・国際政治経済学・国際私法などの科目も勉強したいし、あと英語の勉強も……」



養成プログラムを
選択した2人の
を見ましょう。



E君 「就職ガイダンスで“司法書士”という仕事についての紹介があったので、興味を持ったんです。難しそうだけど、資格がものを言う時代だし、挑戦してみようと考えています。司法書士の試験に必要なのは、主に民法・民事訴訟法・不動産登記法などの民事法系の科目だというアドバイスを受けたので、それらの科目に重点を置いた、法曹養成プログラムを選択することにしました。それに、司法書士の資格を持って民間企業に就職したら、法律の知識を活かした部署で働く道もあるということなので、頑張ります。」



Fさん 「将来、法曹になり社会に貢献したいと思っている私にとって、法学部を3年間で卒業した後、2年制の法科大学院に進学できる法曹養成プログラムは、将来の夢を早期に実現できる上、経済的にも大変魅力的なものと感じています。勉強では、特に司法試験に関わる主要な科目でよい成績を取れるように日々頑張っています。」

3年生からは、こんなことを勉強します

3・4年生になると、専門科目を中心に受講し、専門演習(ゼミ)にも所属して、実践力を鍛え、将来の進路や目的に応じた、より具体的で専門的な内容を勉強します。ここで幾つかの講義科目やゼミを紹介しましょう。

ゼミ紹介



「憲法学」井上 嘉仁



憲法学は、国家権力を抑制し、国民の権利・自由を守るためのルールである憲法の解釈・運用を研究する学問です。私たちの権利・自由は、失われて初めてその大事さに気がつくものです。社会には、権利・自由を抑圧され、その大事さに気がついた人々が多くいますが、国民全体からみれば少数者にすぎません。憲法ゼミの課題は、こうした少数者の声を拾い、あるべき法や制度について議論していくことにあります。そのため、ゼミでは、実社会において公的機関が権利・自由にどのように向き合っているのかを学習し、社会問題となっている人権課題について、各自が意見を形成できるように、プレゼンテーションや討論をおこなっています。

渡邊 倫太郎 広島県立国泰寺高等学校卒



憲法ゼミでは、前期及び後期で異なる活動を行っています。前期ではグループとなって裁判所や県庁をはじめ、様々な行政機関、施設への訪問を行い、そこで業務内容を聞いたり施設見学をしたりしています。後期では、憲法を通して様々な時事問題、社会問題を考察、発表しています。興味関心のある事柄に対してグループに分かれて活動していくので、自分が学びたいことをとことん学べますし、主にグループで活動していくので、周りのメンバーと話し合中でより自分の知識、考えを深めていくこともできます。もちろん、憲法に関する基本的な知識や判例について学べる機会もありますので、憲法が苦手な方でも大丈夫です。私の所属しているグループは、空港を訪問し、実際に滑走路や内部施設を見学させていただきました。座学だけでなく、フィールドワークができる点も憲法ゼミの魅力だと感じています。憲法についてより深く知りたいという方はもちろん、グループで何か活動したい方、公務員試験の勉強をしたい方にも強くおすすめのゼミです。ちょっとでも興味のある方は、ぜひ見学に来てみてください!



「政治学」荒木 隆人



政治学は、正義を追求する人間本性に基づく、総合的な人間学であると言われていています。ですので、私たちに関わるあらゆる社会問題が政治学の対象になります。私たちのゼミでは、前期では広く政治に関係する課題を扱った本や論文(例えば、ナショナリズムと民族の問題、日本におけるジェンダー不平等、民主主義の意義と限界、移民・難民問題など)を読みます。後期には、受講者の様々な関心に基づいて、受講者自身による研究発表を行います。研究発表を通じて、受講者は自ら調べ、プレゼンし、話し合いをまとめるといった力が養成されると思います。研究発表の内容としては、国家と正義、ジェンダーと政治、公共事業のあり方、沖縄米軍基地問題など多岐にわたります。前期、後期ともに受講者が積極的に発言し、活発な討論が行われています。

長谷川 奈璃 愛知県立五条高等学校卒



荒木ゼミの特徴としては、3年生が多く、落ち着いた雰囲気でのゼミです。前期では、参加者全員で同じ本や論文を読んでいきます。まず、ゼミ生がその本や論文の担当箇所の内容を報告した後、少人数のグループに分かれてグループ討論を行います。その討論を通じてまとめられた論点をグループの代表者が発表し、他のグループのゼミ生と議論が行われます。そして、議論の最後に先生からのコメントを頂きます。後期は、前期の本や論文の講読から得た知見を活かして、各自が関心のあるテーマを選び、その内容について研究発表を行い、ゼミ生全員で討論を行います。

外国事情、哲学、政治や社会のしくみ、格差問題や人権問題に興味がある方には是非おすすめしたいゼミです。荒木先生は情熱的に語られます。時折、鋭い指摘を下され、基本的な事項でも親切に教えてくださります。毎回のゼミで、自分の知見が広がっていく感覚がとても新鮮で楽しいです。皆さんもこのゼミで政治学の見方から世界を見てみませんか。



「社会学からみた法と社会」浅利 宙



法社会学は、法律や社会規範が現実生活のなかでどのように作用しているのか、たとえば、法に関する意識や利用方法などについて、経験的データに基づきながら研究する学問領域であると表現することができます。私自身の現在の主要な関心は、家族生活や地域生活でみられる諸問題や紛争現象の生じる現代的背景、ならびに対処・解決過程を対象に、相互作用や社会関係などに着目する社会学の方法論を用いて分析・解明していくことにありますが、ゼミでは特にテーマを限定することなく、学生が選択したテーマに関する社会学的アプローチを用いた研究論文を検討しています。報告と議論を通して、自身が選択した研究内容はもちろん、他の学生が選択したテーマについても理解を深め、また、法律や社会規範と現実生活との関連について関心を深めてもらえればと考えています。

山崎 晃 広島市立広島中等教育学校卒



浅利ゼミの活動内容としては、3年前期では、指定された教材からの発表をします。そして3年後期からは、自分自身の興味から、ゼミで取り上げる分野を選択し、発表をしています。そこでは、様々な論文を見たり、自分で意見をまとめたりすることによって、より深い考察を練り上げていきます。また取り上げられる内容は、教育格差、公共交通、地域コミュニティなど、とても自由度が高く、様々な分野があります。普段は聞くことのできないようないろんな分野の発表を聞くことができ、自分自身の知見が広がっているなど毎回の授業で感じています。また質疑応答では、浅利先生も交えて、明るく和やかながらも、活発に議論を行っています。別の方からの質問を受けて、新しい視点や疑問を意識することができるので、その後の発表を、より良くするいい機会になっています。

ご自身に研究してみたい分野がある方や、社会学を通して、ご自身の知見を広げたい方がいらっしゃいましたら、ぜひ浅利ゼミに来ていただけたらと思います!

「法律」を応用して様々な分野で活躍できる人材を育成するカリキュラム。

広島大学法学部の夜間主コースは、健全な社会的関心と一定の法的素養を備えた人材を社会に送り出すため多様な分野で応用できる基礎力を養成するとともに、グローバルな現代社会で行政過程や企業活動が抱える諸問題を法的視点から体系的に理解し、解決策を提案するために必要な能力や技能を修得することをめざします。

法政総合プログラムでは、1年次には導入科目により科目群の意味を理解し(導入)、2年次には基礎的な専門科目で土台となる基礎知識を定着させ(基礎)、3・4年次には専門科目と専門演習で応用力と実践力を総合的に身につける(応用・総合)というプロセスで、積み上げ型の学習を展開します。また、法学的素養に基づき現代社会の諸問題に総合的にアプローチする、実務能力において優れた人材を育成することを教育目標としています。

夜間主コースにおける授業履修の方法×授業科目

■夜間主コースにおける授業履修の方法

入学後、夜間主コースの学生は法政総合プログラムを専攻し、主として夜間授業時間帯(18時～21時10分)に、東千田キャンパスで授業を受けることになります。それ以外にも、昼間授業時間帯に行われる授業を、一定限度履修することができます。法学部昼間コースの授業も東千田キャンパスで実施されます。

さらに、東広島や霞キャンパスまで通学して、そこで行われている昼間授業時間帯の授業を受講することもできます。

このように、昼間の授業と夜間の授業の両方を履修することができるのが夜間主コースなのです。



(授業科目一部抜粋例)

昼間授業時間帯		夜間授業時間帯	
7・8時限	9・10時限	1・2時限	3・4時限
14:35～16:05	16:20～17:50	18:00～19:30	19:40～21:10
	●法学基礎 ●キャリア形成論 ●民事執行・保全法 ●倒産処理論	●基本的人権1 ●民法総則2 ○日本国憲法 ●税法1 ○大学教育入門 ○平和科目	●刑法総論 ●演習 ●統治システム論 ●民法総則1 ○教養ゼミ ○コミュニケーション英語

○教養教育科目 ●専門教育科目

・基本的には夜間授業時間帯の授業科目を履修する。

・昼間授業時間帯に開講されている授業科目は40単位まで卒業要件単位に算入できる。

在校生からのメッセージ

主体的に選択し、学ぶこと。確実に将来の自分を形成していく力になる。

夜間主コース3年 金羽木 絢子



私が法学部を志望したのは、社会を形成するプロセスや法律について学び、問題を発見する幅広い視野と論理的な解決策を提案できる総合的な判断力を身につけたいと考えたからです。そして学費や生活費を稼ぎながら学びたいという理由から、昼間の時間を有効に活用できる夜間主コースを選択しました。社会人にとっては、仕事を続けながら、大学で専門知識を深めることができ、キャリアアップや転職を目指す方々にも最適です。夜間主コースには現役生や一般的な大学生の年代が多いですが、社会人も1割程度在籍しており、幅広い世代と共に学ぶことができます。普段の限られた人間関係や社会生活の枠を超え、新たな視点や発想を得る貴重な機会となり、とても勉強になります。東千田キャンパスは広島市中心部に位置して

おり、交通アクセスや利便性が良く、生活環境が整っています。また同キャンパスに昼間コースが合流したことで、昼間コースの講義を気軽に受講できるようになりました。単位参入には限度がありますが、ライフスタイルにあわせた柔軟な履修が可能です。学業と仕事の両立は容易ではなく、忙しい毎日の中で困難に感じることもあります。しかし、主体的に選択し、学ぶことは、確実に将来の自分を形成していく力になります。社会に出ると、普遍的な倫理観や正義感だけでは対応できない問題がたくさんあります。私は学ぶ過程を通じて、専門的な知識はもちろん、豊かな表現力や他者を理解し協働する力、問題解決能力を身につけ、自分なりの解を見つけないかと考えています。

夜間主コースを検討されているみなさま、一緒に学んでみませんか?ぜひ入学をご検討くださいませ。

夜間主コース主任挨拶

「夜間主コースへ入学される皆さんへ」

広島大学法学部夜間主コース主任 永山 博之



夜間主コースの授業は、夜間授業時間帯(18時～21時10分)に開講されます。夜間主コースは、もともと昼間働かなければならず、夜に勉強を行う勤労学生のために設置されました。現在も、社会人学生、フェニックス入学学生に対して開かれた学部になっています。このようなわけで、夜間主コースには、さまざまな年齢や経験をもつ学生が集まっています。

日本の大学はほとんどの学生が高校を卒業してすぐに入学していることが多く、同じような年齢と経験の人ばかりが集まることが多いのです。これは、日本などでだけみられることであり、他国では高校や短大を卒業して、何年も仕事の経験を積んでから大学に入学してくる人が少なからずいます。さまざまな背景を持っている学生がともに、同じ場で学び、話をするには大きな意義があります。若い学生と経験を積んだ学生が対等な立場で議論し、お互いから学ぶことは、今の日本では得がたい機会であり、夜間主コースの学生のみなさんにはこうした機会を活かしてほしいと願っています。

広島市の中心にある東千田キャンパスが、大学が本来もっているべき多様性を実現する学びの場であることを、みなさん自身が経験してほしいと思います。

楽しいよっ!! キャンパス・ライフ

学生は大学で何をしてるの？ 授業に出席して勉強するのはあたりまえ。でも、それだけじゃないんです。広島大学では、入ったばかりの新入生でも退屈するヒマもないくらい、学生生活を楽しく、忙しくするいろんなプログラムを用意しています。まず新入生がいきなり経験するのが、新入生オリエンテーション行事。2年生が1年生といっしょに活動しながら、大学生活に溶け込み、友人をつくるための企画です。

様々な留学プログラムや資格取得を目指す特定プログラムなど、学生の興味に応じて色々な体験ができます。授業の合間には、高裁長官や外国の学者による講演会が開かれ、学生はそこから法、政治、社会のエッセンスを吸収します。



2024年度前期STARTプログラム 台湾にて



挑戦の掛け算が、未来の可能性を広げる

廣瀬 大智 東京都出身

東京から離れた新しい環境で自分を試したいという強い思いがありました。そして質の高い法学教育と、キャンパスの国際的な雰囲気にも惹かれ広島大学を選びました。

入学後は留学生と交流する「日本語カフェ」を友人たちと立ち上げ、多様な価値観に直接触れる面白さを実感。同時に「リズムダンスクラブ」に所属しブレイクダンスに日々熱中しました。チームで一つの作品を創り上げる経験を通じて、仲間と真剣に協働しながら目標を達成する楽しさも難しさも学びました。

法学研究で培う論理的思考やカフェで得たリアルな国際感覚、そしてダンスで体得したチームワーク。これらの分野の異なる経験が有機的に結びつき私の視野を大きく広げ、人間的にも成長させてくれました。将来国際的な舞台で活躍したいという目標もより明確なものになりました。

広島大学には主体的に学べる学問だけでなくサークルや国際交流など、夢中になれる素晴らしい機会が溢れています。皆さんも一つのことに縛られず様々な挑戦を通して自分の新たな可能性を発見し、広げてください。その経験のすべてがきっとあなたの未来の力になります。



入学式

第1ターム授業終了
第2ターム授業開始



高裁長官講演会

4.

5.

6.

7.

8.

9.

春季休業(4月1日～7日)
入学式・父母等懇談会
新入生オリエンテーション行事
第1ターム・前期セメスター授業開始
履習手続
サークル勧誘



新入生オリエンテーション行事

広島高等裁判所
長官講演会

第2ターム・前期セメスター授業終了
夏季休業
オープンキャンパス
集中講義(夏季休業期間中)
大学院入学試験
(博士課程前期)
(博士課程後期)

ACTIVITIES



SendaLab



BIBLA Senda



東千田図書館



食堂



BIBLA Senda

大学で学ぶとは、簡単に言えば、情報を集めてそれを加工しながら、新しい情報を創ること。そのために重要なのが、図書館と情報基盤です。広島大学の図書館は、全学で5館から成り、約342万冊の蔵書を持つ、日本有数の大学図書館です。各図書館にある本は、東千田図書館に取り寄せることができます。電子ジャーナルやデータベースなどを、学内や自宅から利用することができます。また、BIBLA SendaやSenda Labなどの学習に使えるスペースもあります。



千田祭



千田祭開幕



第1回千田祭開催への挑戦

坂本 明日香 東京都出身

地域と学生の新たな繋がりを生み出したいという思いから、地域連携サークル「東千田いきいきネットワーク」を立ち上げました。主な活動は、近隣商店街のお店紹介やボランティア活動、そして地域と大学がひとつになって楽しめる大学祭「千田祭」の運営です。

このサークルは、2023年度に法学部昼間コースが東千田キャンパスへ移転したことをきっかけに誕生しました。学生同士の交流はもちろん、地域の方々との関わりも深く、温かなつながりが日々生まれています。例えば、地元のお店を紹介する企画では、自分たちでアポイントを取り、直接取材。店主の思いや魅力を丁寧に記事にまとめ、SNSを通じて広く発信しました。「千田祭」では、地元企業の協力を得ながらイベントをつくり上げ、地域との絆をさらに深めることができました。地域で開催されるイベントにも積極的に参加し、顔の見える交流が自然と広がっています。

2024年度に初開催した千田祭では、約2000人の学生や地域住民の方々が来場。会場は笑顔に溢れ、大成功を収めました。今後も千田祭を中心に、学生と地域の架け橋となる活動を続けていきたいです。

広島大学には、自分の「やってみたい」を形にできる環境があります。挑戦を支えてくれる仲間や先生、職員の方々がいて、一人ひとりが自由に自分らしく活動できる場が広がっています。大学生生活は一度きり。学業は勿論、アルバイトやサークルなど、すべてに全力で取り組み、後悔のない大学生活を過ごしてください。その経験の掛け合わせが、皆さんの視野をきっと広げてくれます。

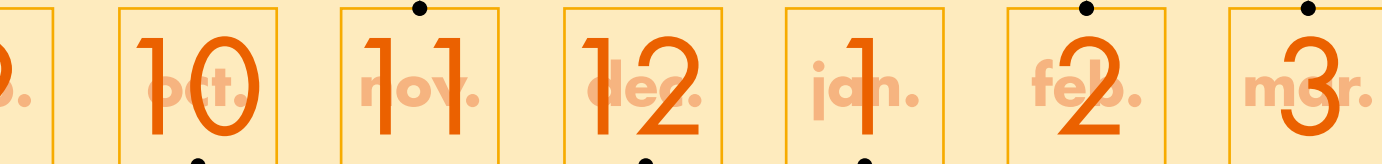
第3ターム授業終了
創立記念日(11月5日)
入学試験
(広島大学光り輝き入試)
(編入学試験)



千田祭

第4ターム・後期セメスター
授業終了
学年末休業
入学試験(前期日程)
大学院入学試験
(博士課程前期二次)
(博士課程後期)

入学試験(後期日程)
学位記授与式
成績優秀者表彰式
懸賞論文表彰式



第3ターム・後期セメスター授業開始
履習手続
就職内定者報告会
法学部就職ガイダンス
千田祭(大学祭)

第4ターム授業開始
冬期休業
(12月26日～1月5日)

大学入学共通テスト



学位記授与式



マルメ大学



広島から世界へ：留学を通じて広がった視野と学び

岡島 由奈 広島県出身

広島大学では、毎年多くの学生が留学を経験していることも大きな特徴の一つです。私は、大学の交換留学プログラムを利用して、2年次の8月から3年次の6月まで、スウェーデン南部にあるマルメ大学へ留学しました。

留学先では、「人権」のプログラムを専攻し、法学・社会学・哲学の視点から見た人権に関する授業を受講した他、最終課題では人権問題に関する論文をグループで執筆し、体系的に理解を深めました。スウェーデンの他にも、ロシア、イタリア、ギリシャ、ドイツなど様々なバックグラウンドを持つ人々とともに、人権というキーワードを軸に1年間学んだことは、非常に大きな経験でした。

また、現地の平和団体と連帯し、広島の実地や核兵器の問題に関するプレゼンテーションを現地で複数回行うこともできました。留学後も、オンラインを通じて交流を続ける予定です。世界規模の問題について、国境を超えて様々な人々と繋がり、話し合うことの大切さを強く感じました。

広島大学では、大学内での座学にとどまらない、様々な学びの機会に溢れています。教授や友人も、それぞれの夢を応援してくれる人たちがばかりです。貴重な環境に身を置けていることに感謝し、これからも視野を広げ学び続けていきたいです。



留学先の友達と

現在と未来を強力にサポート

法学部の勉学支援

広島大学法学部では「法学会」と「後援会」という組織を作って、皆さんの学生生活の現在と未来を、様々な側面からサポートしています。

「法学会」は、『広島法学』（写真右）を刊行し、広島大学法学部の教育・研究の成果や水準を、国内外に示しています。2004年度より新設の「法科大学院」のスタッフや学生も加わり、『広島法学』には「ロースクール」情報も満載しています。

「後援会」は、皆さんの学生生活に必要な不可欠であるものの、大学予算ではまかなえない部分を、金銭的にバックアップする活動をしています。例えば、留学経費の補助、司法試験、司法書士試験、公務員試験などの各種資格試験のための勉強会の応援、民間企業への就職を考えている人向けの対策講座や講演会などを行う際の補助金の支出、広島大学法学部を会場として開催される全国学会や研究会への助成金支出、卒業祝賀会への補助などの活動をしています。

また「法学会」と「後援会」は共催で、国際的に著名な研究者や専門家を招く学術講演会を開催したり、卒業論文の代わりとなる懸賞論文を募集、表彰したりするなど、皆さんの勉学意欲と将来への展望を刺激しつつあります。



懸賞論文表彰式にて

法学部の就職支援

法学部では、学内のグローバルキャリアデザインセンターや学外の就職関連業者との連携を図りながら、法学部独自の支援も行い、1年生から卒業年次に至るまでの、トータルな就職活動支援システムをもっています。

近年の厳しい就職状況により、各学生の就職活動の開始が早まる傾向にある中で、法学部教職員が一丸となってサポートをしています。

まず、1年生の段階で、「働く」ということについての明確な意識をもってもらうために、広楓会主催の「卒業生と在校生の懇談会」で身近な先輩方の話を聞く時間を設けています。1年生の内は、まだ就職のことなど考えたくない、という気持ちがあるかもしれませんが、「1年の計は元旦にあり」というように、「大学生活の計は1年次にあり」といっていいほど、将来の方向性を決める上で重要な時期です。ここで、しっかりした就職に対する目的意識をもって、日頃の勉強を進めてもらうことになります。

2、3年生以上になると、ゼミ連や就職委員会などが行う「民間企業内定者報告会」や各種キャリア支援講座が催され、学生達の自主的なそれらの活動を支援しています。

また、実践力に加えて重要なのが、本質的な実力の養成です。法学部では、ものごとを論理的に考え、人に伝えることができる能力のかん養を重視していますが、1年次から始まる教養ゼミ、2年次の基礎演習（昼間コース）、3年次以上の専門演習と、切れ目のない少人数による演習システムを通じて、プレゼンテーションの仕方等も含む、就職活動に必要な本質的な実力の養成が行われています。



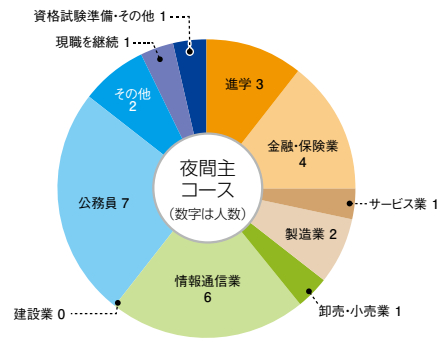
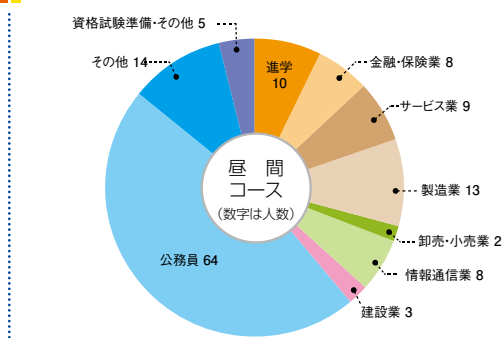
各界で活躍する先輩たち

卒業生の進路

広島大学法学部では、卒業後に地方公務員や国家公務員となって官公庁で働く人の割合が、他学部比べて大きいのが特徴です。もちろん民間企業でも多くの卒業生が、さまざまな業界の法律の知識を活かす部署で、生き生きと働いています。

その他、大学院に進学して、裁判官・検察官・弁護士・司法書士・公認会計士・税理士などといった法律関係の専門職に就くため、資格試験にチャレンジする人もいます。

令和6年度卒業生の就職状況



卒業生紹介



司法書士となり、さらに社会貢献事業の法人を創業

橋口 貴志 (一社) 人生安心サポートセンターきらり 理事長
司法書士法人ありがとう 所長・平成7年度卒)*

人生一度さり。チャレンジします！
現在49歳の卒業生です。28歳のときに司法書士事務所を創業し、38歳のときに一般社団法人人生安心サポートセンターきらり(以下、「きらり」という)を創業しました。

最初は、司法書士として、後見人業務をしていましたが、家族がいない方には後見人だけではなく、入院時の保証人、葬儀、遺言など、総合的なサービス提供が必要だったので、きらりを設立しました。事務所の場所は、原爆ドーム向かい側の広島商工会議所ビル8階です。

きらりは、お客様から遺言で遺産を寄付いただくことも多いので、その寄付金を原資に、返済不要の奨学金を経営的に困難な学生へ給付するなど、積極的に社会貢献事業に取り組んでいます。近年のうちに、子ども食堂の運営も開始する予定です。多くの人の人生を守りながら、かつ大胆にチャレンジすることは、非常に難しいことです。しかし、この私の思いを、広楓会(広島大学法学部、経済学部などの卒業生の同窓会)、広島大学千田塾(広島大学全学部の卒業生の異業種交流会)の先輩たちを始めとして広島大学卒業の多くの先輩たちが聞いてくださり、多くの協力やアドバイスをいただけたので、きらりは大きく発展しました。現在は、広島大学卒業の先輩数名に、きらりの役員として就任いただき、きらりの事務局では、広島大学卒業生と在学生が、正職員、アルバイト、インターンとして数多く活躍しています。広島大学の縁なくして、きらりの発展はありませんでした。広島大学に入学したら、ぜひ、きらりへ見学に来てください。それから、この素晴らしい多くの先輩たちがいる広島大学法学部でしっかり学び、社会に羽ばたいてください！



大学時代にしかない出会いを大切に

續 諭 果 (法務省・令和6年度卒)

私は、私人間の紛争解決過程における法的な考え方を学びたいと考え、法学部を選びました。中でも、人の一生に密接に関わる戸籍や相続等に興味を持ち、将来は、より国民の方々とって利用しやすい法制度作りに携わりたいと考え、法務省に入省しました。大学を卒業したばかりの私から、皆さんにお伝えしたいことは、以下の2点です。

まず、大学では、自身の専攻以外の分野について学ぶ姿勢も、大切にしてください。私は現在の職務で法以外の分野に触れることが多々あり、大学時代にもっと幅広く勉強し教養をつけておけば、現在の職務でも活かすのに役立つと思っています。他の職種においても、世間を知ることの重要性は変わりません。教養科目や、本・新聞、他学部生との交流を通し、様々な世間に目を向けてみてください。視野を幅広く持てば、将来の選択肢が広がりますし、その先の職業人生でも役に立ちます。

次に、人との出会いを大切にしてください。私は昔から、交友関係を広めることに苦手意識があり、何かにチャレンジする前に足踏みすることが多くありました。そんな中、思い切って入部したサークルやボランティア活動では、情熱にあふれた人、一見物静かに見えて芯を強く持っている人等、多様な方々がおり、私が知らなかった世界をたくさん見せてくれました。これらの経験は、自分の内面や将来について考え直すきっかけとなっています。振り返れば、もっと行動力を持ち、積極的に交流を増やせば良かったと思っています。ぜひ、サークル、プログラム等に取り組む機会・時間が沢山ある大学は、多種多様な人々と関わりあえる絶好のチャンスです。皆さんはぜひ、大学時代にしかない出会いを大切にしてください。



よりよく生きるための「学び」に出会う場所

永 岩 慧子 (龍谷大学 准教授・平成23年度卒)*

広島大学を卒業後、大学院に進学・修了し、2017年より名古屋経済大学、2020年からは愛知学院大学、2024年からは龍谷大学で教員をしています。大学では、自らの専門である民法科目や演習を担当しています。大学教員の仕事には、自身の研究に加え、授業内外における学生指導や大学運営に関する業務、学外での委員会活動など様々なものがあります。これらの仕事にどのように取り組むかは基本的に教員個人に委ねられており、多くの可能性が開かれている一方、自ら考え、行動しなければ何をなすこともできません。自分のしたことが、直接に成果として現れるところが魅力でもあり、大変なところでもあります。大学院生の時、指導教員のもとで東北へのボランティア活動に参加しました。そこで、学生に「体験」の場を提供するという教育面での役割や、社会貢献の可能性に、大学教員という仕事への思いを一層強くしました。現在に至る道は決して平坦ではありませんでしたが、先生、家族、同じ研究者を目指す友人など、多くの人に背中を押してもらいました。大学教員としての歩みを続ける中で、一つのことを突き詰めて考える思考力に加え、幅広い視野を持ち、人としての豊かさを身につけることの重要性を日々感じています。研究にも教育にもゴールはありませんが、一生学び続けることが、自分自身がよりよく生きるためであると同時に、社会の利益となっていくのだと思います。これから大学生活を送る皆さんが、多くの先生や友人との交流、そして様々な体験を通して、自己を豊かにする「学び」に出会われることを願っています。



「しっかり目的意識を持ち、様々なことに挑戦していくこと」を大切にしてください。

佐々木 俊祐 (教育開発・平成28年度 夜間主コース卒)

私が入学を決めたきっかけは、政治や法律に興味があり、学費を自分で払うことができる国立大学に行くことが大きな要因です。兵庫県姫路市の出身で、友達もおらず1人暮らしが初めてなので、期待ばかりではありませんでした。しかし、入学後すぐ、オリエンテーションキャンプがあり、友だちづくりの場、先輩や教員との交流の場が用意されているため、そのような不安も払拭することができ、楽しい大学生活を送ることができたと思います。在学時の思い出で、1番印象に残っているのは、国会議員のインターンシップに参加したこと。受講していた「政治の世界」の授業内で紹介があり、最初は興味があるという程度の意識でしたが、友達の強い後押しや後悔したくないという感覚を大事にし、最終的には2か月間、ほぼ毎日インターンシップに参加するくらいのもりこんだのを覚えています。インターンでの出会いや経験を契機とし、「しっかり目的意識を持ち様々なことに挑戦していくこと」を大切にしようになったのを覚えています。その結果として、高校時代から感じていた、「日本の教育を変えていきたい」という原点を思い出し、インターンで知り合った方の教育活動にも、インターン後も関わり続け、就職先としても教育業界を選びました。インターンに行くという些細な選択が、私の人生において大きな影響を与えてくれていました。今勉強している高校生は、なぜその大学・学部に入りたいのか、どう生きたいのか、将来に向けた希望や課題に目を向け、受験というステージを成長するための過程だと割り切ることで、ニヤツや苦しみながら頑張ってください。

【人生出会うべき人には必ず出会う。しかも一瞬遅すぎず、早すぎず。】私が大事にしている座右の銘です。広島大学で過ごす中で、様々な人に出会うと思いますが、その中には、人生を大きく変えさせる出会いもあるはずです。生じる縁を大切に、失敗を恐れず、積極的に挑戦する意識をもって、大学ライフを満喫してください。

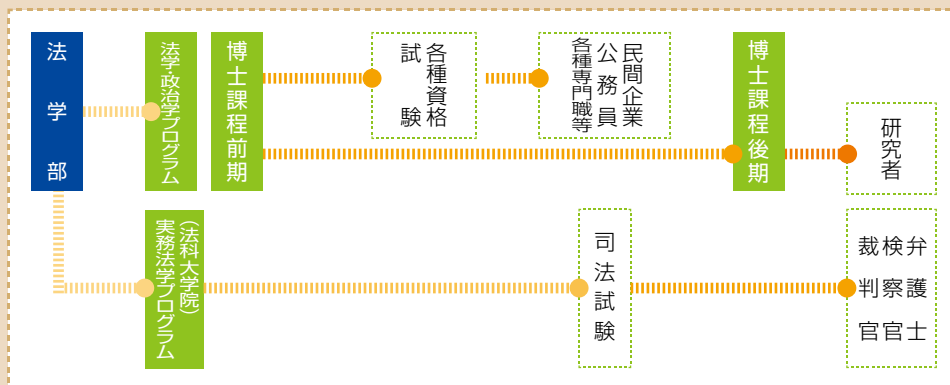
*職名等は令和7年7月当時のものです。

大学院で学ぼう

05

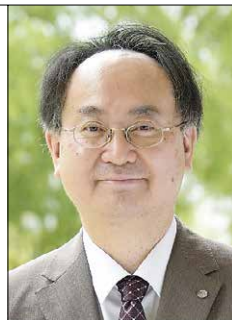
プログラム長からのメッセージ
院生紹介

卒業後さらに大学院に進学して、法学部で学んだことを発展させ、研究を深める途が開かれています。
また最近では、大学院を修了した専門知識を有する人を求める企業も増えています。大学院で学ぶこと
によって、研究者や高度専門職業人といった幅広い進路が皆さんに開かれるでしょう。



大学院人間社会科学研究科 法学・政治学プログラム

専門家を目指してみませんか



プログラム長 吉中 信人

今日、私たちの社会が抱える諸問題は、ますます複雑化し、多様化しています。こうした時代にあっては、視野を幅広く持ちつつも、専門的に深化した能力が重要になります。人間社会科学研究科法学・政治学プログラムでは、特定のテーマに絞って深く掘り下げた研究を行うプロフェッショナルを養成します。法学、政治学はもちろん、社会学を専門とする充実したスタッフを揃え、少人数での演習方式を中心とした研究を行います。修士号を取得して社会で一段上の分析能力を発揮するもよし、また、博士課程後期に進学したのち博士号を取得して大学教授を目指すのも良いでしょう。「法曹」とは、普通は裁判官、検察官、弁護士の3者を意味しますが、大学等の研究者を加えて、「法曹4者」といわれることもあります。法学はもちろん、政治学、社会学の専門家を、あなたも目指してみませんか。

大学院人間社会科学研究科 実務法学プログラム(法科大学院)

法曹として活躍する未来のために

法科大学院とは、法曹養成のための専門職大学院です。広島大学法科大学院は、昨年、創立20周年を迎え、多くの修了生が法曹実務家(裁判官・検察官・弁護士)となって、中四国地方を中心に全国で活躍しています。法曹人口の増加にともなって、法律事務所に勤める弁護士のほか、企業内弁護士・自治体内弁護士(組織内弁護士)として活動する法曹も大幅に増加するなど、法曹が活躍するフィールドは多様化し拡大しています。

法曹資格を取得するためには、司法試験に合格しなければなりません。その司法試験の受験資格を得るための要件が法科大学院の修了です(ほかに、司法試験予備試験に合格することで受験資格を得る方法もあります)。

広島大学は、東千田キャンパスを「法曹養成の拠点」として整備し、法学部と法科大学院が連携して一貫した教育課程を提供する「法曹コース」を設けています。「法曹コース」では、法学部を3年間で早期卒業し、法科大学院既修者コース(2年間)に入学できます。さらに、法科大学院在学中に司法試験を受験すること(在学中受験)で、法学部入学から最短5年間で法科大学院の修了と司法試験合格を目指すことが可能です。

広島大学法科大学院は、司法試験合格のためのサポート体制を充実・強化し、広島弁護士会と連携して弁護士ゼミやサマースクールを開催するなど、継続的かつ一貫した学習支援制度や多様な奨学金制度を設けて、学生のみなさんを強力にバックアップしています。法曹実務家として活躍する未来を実現できるように、みなさんの努力を応援し支え続けていきます。



プログラム長 野田 和裕

こんなふうに勉強しています!!

院生紹介



■ 下崎 誠也 (法学・政治学プログラム 博士課程前期)

私の専攻は民法の家族法であり、特に「親権」の法的構造に関心を持っています。

皆さんは、親権と聞いて、どのようなイメージを持つでしょうか。子どもを育てるための「権利」でしょうか、それとも「義務」でしょうか。あるいは、親であれば当然に認められるものと考えられる方もいるかもしれません。実際、「親権」という言葉には、法的にも社会的にも多様な意味合いが含まれており、その在り方は時代とともに問い直されています。

近年の日本では、離婚後の共同親権が選択可能となったことで、親権の帰属と行使を分けて考える必要性が高まり、複数の親による意思決定の在り方が注目されています。また、児童虐待が深刻な社会問題となる中で、保護措置と親の権限の関係も大きな課題となっています。たとえば、施設に保護されている子どもに対して、施設が行う日常的な監護や教育的対応に親が強く反対を示すケースが実際に報告されており、親権の行使が子どもの利益や保護の実効性と衝突することがあるのです。そこで私は、児童福祉法に基づく行政による介入と、親権者の法的地位との関係がどのように調整されているのかを検討し、さらに、親の権限が子どもの福祉のための「義務」として位置づけられて

いるイギリスの法制度を比較対象とし、子どもの利益を最優先に据えた制度設計のあり方について、示唆を得ることを目指しています。

また、研究を進めるうえで、大学院は非常に恵まれた環境です。単に知識を深めるだけでなく、他の院生との議論や教授方との対話を通じて、新しい視点を得る機会に満ちています。異なる背景を持つ仲間との交流は、自分の考えを見直し、さらに深める大きな刺激となりますし、「なぜ」という問いを繰り返す環境は、法学という学問の奥深さを実感させてくれます。

そして、こうした学びの出発点となったのが、広島大学法学部での経験でした。入学前は漠然と「公務員になれたらいいな」と考えていた私も、ゼミや授業での出会いを通じて法学の面白さに目覚め、研究を志すようになりました。

法学には、「これが正解だ」と簡単には言い切れない問いが多くあります。だからこそ、自分なりに考え、議論し、理解を深めていく過程そのものに、大きな価値があるのだと思います。広島大学には、そうした知的な探求に思いきり取り組める環境があります。今はまだ将来の進路や目標がはっきりしていないという方も、ぜひ興味のある分野に一歩踏み出してみてください。思いがけない問いや出会いが、あなたの可能性を大きく広げてくれるはずです。

■ 崔 杰 (法学・政治学プログラム 博士課程後期)

広島大学大学院法学・政治学プログラムの博士課程後期に在籍する中国出身の留学生です。私の研究内容は国際安全保障に関するものです。国々の中によく見られる同盟関係と国内政治の関係に注目して、研究を進めています。永山博之先生の下で勉強をしつつ、広島大学に来て3年目に入りました。ここで、博士課程前期を修了して、現在は博士課程後期の一年目です。

大学院生として、主に特別研究をします。先生により指導法が変わるかもしれませんが、永山ゼミは、月一回ぐらいの頻度で、自身の研究の進捗状況を先生に報告して、指導してくれます。

大学院では、安全保障論以外にも、日本外交史、比較政治学、行政学、多文化共生の政治学、国際・政治経済学など、幅広い政治学に関する授業が開講されています。好きな授業を取って、自分の研究に活かすことも重要です。

法学・政治学プログラムには優しい先輩がたくさんおり、研究の仲間を作ることができます。同じ研究室の友達と仲良くし、定期的に読書会で同じ本を読み感想をシェアしたり、発表の練習をしたりするなど、気楽な雰囲気です。研究することができます。さらに、他大学の研究者との交流の機会も豊富で、広い視野を得られる環境が整っています。

大学は大学院生の学習環境と生活を広く支援してくれます。綺麗な研究室と充実した設備、他のキャンパスや他大学から図書の取り寄せができる図書館はとても便利です。経済面の支援も手厚く、独自制度もあります。ここには研究に専念することができる環境があると感じます。

私の将来の進路は、国際視野を持つ、専門知識が豊かな人を目指して、多くの先輩たちと同様に、大学で研究を続けていくことを希望しています。

法学部と法学・政治学プログラムは、2023年4月に広島市内に移転しました。そのため、生活はより便利になりました。さらに、大学から多くの支援が得られ、研究の仲間も作りやすい環境のため、快適に研究できるところだと感じています。広島大学法学部・政治学プログラムに入ることを検討している方、ぜひここから、自分の夢を追いかけましょう。



大学院紹介・院生紹介

Hiroshima Univ.

法学部



■ 藤原 汐星 (実務法学プログラム(法科大学院))

大学受験に際し将来の進路を考える中で、以前から憧れていた法曹という職業への思いが大きくなり、法学部への進学を決めました。受験校を調べる中で、広島大学法学部には法曹養成プログラムと早期卒業制度があることを知りました。経済的・時間的な負担を抑えつつ法曹を目指す点に大きな魅力を感じ、「このような制度があるなら、ぜひ活用したい」と思い、学部生活では早期卒業を目標に努力しました。

大学に入るまで法律を学んだことがなく、1年生の頃は授業についていくだけで精一杯でした。法科大学院の入試では学部の成績が影響するため、日々の講義に真剣に取り組み、良い成績を収めることを心がけていました。また、学部時代には産学連携プロジェクトや検察エクスターンシップに参加したほか、広大学生が無料で聴講できるシンポジウムや講演会等にも積極的に参加しました。実務に関する学びは非常に興味深く、座学だけでは得られない多くのことを学ぶ貴重な機会になりました。

広島大学法学部では、法曹養成プログラムの一環として法科大学院の先生による講義があり、大学院の科目を早期に履修できる制度も整っています。法学部と法科大学院が密接に連携しており、自然と法科大学院の先生方とも関わる機会が多くありました。学部でお世話になった法科大学院の先生の下で引き続き学びたいと感じたことも、広島大学法科大学院への進学を決めた理由の一つです。

大学院では、より高度な授業が展開され、学部以上に深い理解や応用力が求められます。忙しい日々の中で、親身に指導してくださる先生方や、意欲的な同級生・先輩方に支えられながら、互いに刺激を受け、日々成長を実感しています。

法学部を受験する皆さんの中には、「法律＝暗記」というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。確かに、覚えるべきことは少なくありませんが、それ以上に大切なのは、覚えた知識を具体的な問題にどう応用するかを自分の頭で考えることだと思います。そして、今自分が学んでいる一つひとつの知識が、将来、困難な状況に直面する人々を支えるための力になるかもしれないと考え、学ぶ意義を強く感じ、自然と勉強への意欲も湧いてきます。法曹として社会に貢献することを目指すうえで、広島大学での学びの積み重ねが、確かな土台となっていくのだと思います。

広島大学法学部・法科大学院には、法律を深く学び、将来の目標に向かって着実に歩むための環境が整っています。ぜひ、広島大学法学部・法科大学院で一緒に学びましょう。

法学部への入口は多彩

2つのコース

高校から大学へ、フルタイムの学生(学業専念)をめざすあなた **昼間コースへ。**

最も多い募集は、大学入学共通テストから前期の一般選抜をトライ。そのほか、大学入学共通テストを課さないⅠ型、国際バカロレア型の他、共通テストを課すⅡ型も用意し、多様な人材を受け入れています。

働きながら学ぶ、生涯学習をめざすあなた **夜間主コースへ。**

多彩な選抜を用意しました。大学入学共通テストから前期の一般選抜へ進む道とは別に、あなたに合った入試にチャレンジしましょう。夜間主コースでは、主に18時から21時10分の夜間に学習するほか、制限単位数以内であれば東広島や東千田キャンパスの昼間時間帯の授業を履修することもできます。また、昼間コースの学生と一緒に、同一時間に昼間コース夜間主コースの両方で開講される講義を受けることもできます。

概要

区分				募集定員	試験内容
一般選抜	前期日程		昼	130	大学入学共通テスト、個別学力検査
			夜	15	
広島大学光り輝き入試	総合型選抜	Ⅰ型	昼	5	書類選考、面接
		Ⅱ型	昼	5	小論文、面接、大学入学共通テスト
		国際バカロレア型	昼	若干名	IB 最終試験6科目成績評価証明書、面接
			夜	若干名	IB 最終試験6科目成績評価証明書、面接
		社会人型	夜	15	小論文、面接
		フェニックス型	夜	若干名	小論文、面接
第3年次編入学試験		外国人留学生型	2月実施 昼	若干名	日本留学試験、英語民間試験成績証明書、面接
			夜	5	小論文、口述試験

各種入学

一般選抜 昼間コース 夜間主コース

前期日程のみ実施します。大学入学共通テストの利用教科は、「国、地歴・公民、数、理、外、情」から「6又は7教科7又は8科目」です。
個別学力検査は、昼間コースが「国」「外」、夜間主コースは「国」です。

広島大学光り輝き入試 昼間コース

総合型選抜・Ⅰ型 昼間コース

法学部が実施する同年度の「社会科学オーディション」に2回参加した方が出願でき、修学計画書等の出願書類で第1次合格者を選抜し、出願書類を参考に面接で合否を判定します。合格者には、入学前教育を受けてもらいます。

広島大学法学部社会科学オーディションとは??

対象は、本学を受験する年度の3月31日までに卒業見込みの方と前年度4月1日以降に卒業した方で、受験する年度の5月と8月に実施します。

自身が作成した「修学計画書等」をもとに、社会科学オーディションを実施します。

令和7年実施内容▶



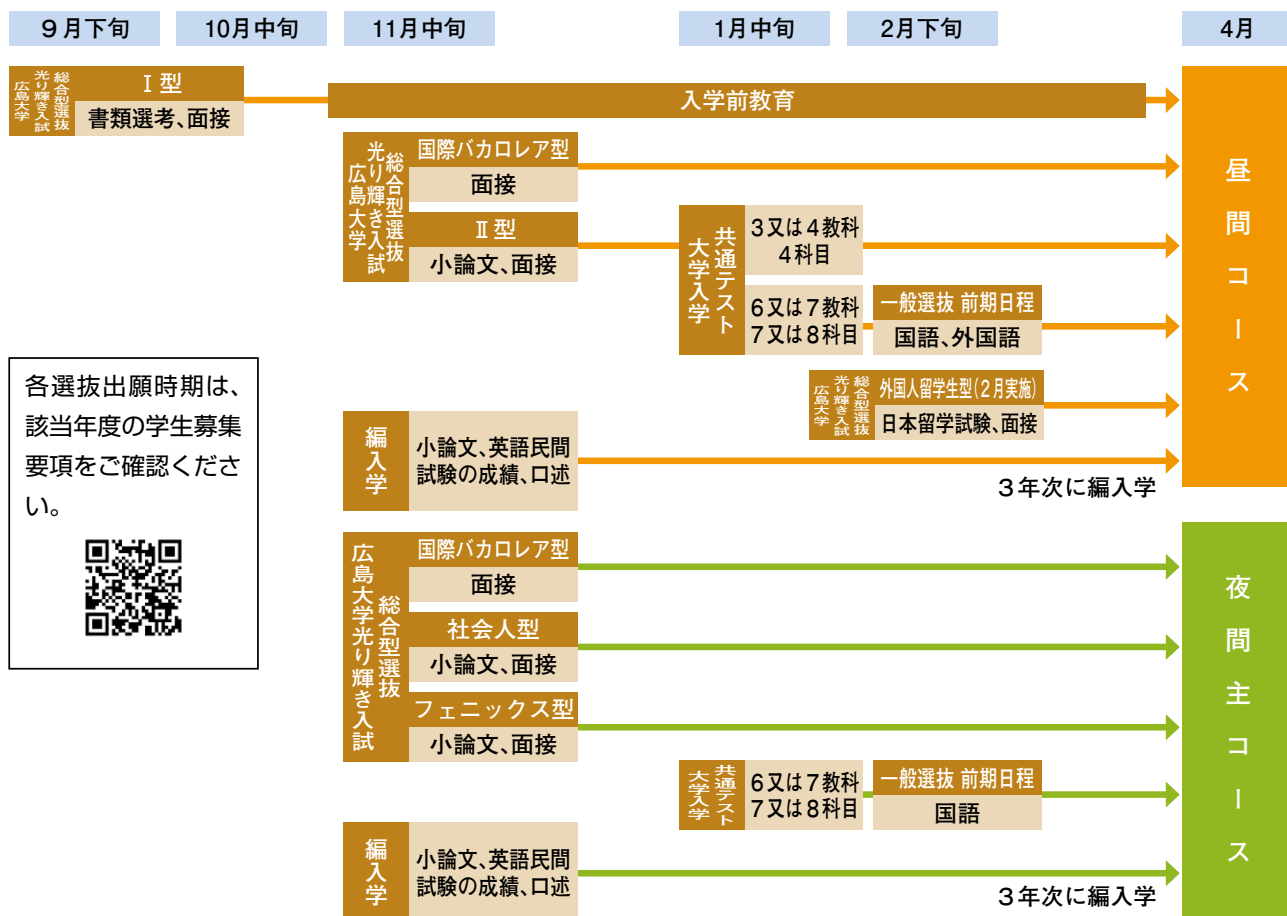
総合型選抜・Ⅱ型 昼間コース

志望理由書などの書類を参考に、小論文と面接により第一次合格者を選抜し、大学入学共通テストを受験して、一定の基準点を超えた方を最終合格者とします。

総合型選抜・国際バカロレア型 昼間コース

国際バカロレア資格取得者を対象とした選抜で、志望理由書などの書類を参考にし、面接のみで合否を判定します。

スケジュール



各選抜出願時期は、
該当年度の学生募集
要項をご確認ください。
い。



者 選 抜

広島大学光り輝き入試 昼間コース

総合型選抜・外国人留学生型(2月実施) 昼間コース

日本国籍を有しない方を対象とした選抜で、日本留学試験の点数が一定以上の方が出願できます。面接のみで合否を決定します。

広島大学光り輝き入試 夜間主コース

総合型選抜・国際バカロレア型 夜間主コース

国際バカロレア資格取得者を対象とした選抜で、志望理由書などの書類を参考にし、面接のみで合否を判定します。

総合型選抜・社会人型 夜間主コース

社会人や主婦など22歳以上の方が出願できます。小論文と面接のみで合否を判定します。(大学を卒業または卒業見込みなどの方は、編入学試験を受けることもできます。)

総合型選抜・フェニックス型 夜間主コース

60歳以上の生涯学習者向けの入試を設けました。小論文と面接のみで合否を判定します。

第3年次編入学試験 昼間コース 夜間主コース

大学・短期大学・高等専門学校などを卒業した方(卒業見込みを含みます)、あるいは大学に2年以上在学し所定の単位を修得(見込みを含みます)し、広島大学が指定する英語民間試験についてCEFR相当レベルB2以上の方が出願できます。3年生に編入し、2年間の在学で卒業することができます。

出願資格など、詳細は『募集要項』で、ご確認ください。ご不明な点は、パンフレット裏表紙記載の窓口まで、お問い合わせください。

広島大学法学部

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/law>

■昼間・夜間主コース(東千田キャンパス)

〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目 1-89 TEL 082-542-7057, 6998

FAX 082-542-6964

E-mail: senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

法学部は東広島市から広島市へ移転しました

令和5年4月授業開始



■東千田キャンパス

- ・JR広島駅前からバスまちのわループ左回り、50号東西線アルパーク方面行で「日赤病院前」下車(所要時間約20分)
- ・JR広島駅前から市内電車紙屋町経由「広島港」行で「日赤病院前」下車(所要時間約30分)
- ・JR横川駅前から市内電車「広島港」行で「日赤病院前」下車(所要時間約25分)

